

商品名	概要
価格	
下水道耐震計算 (統合管理)	下水道耐震計算シリーズの各計算ソフトを統合管理するシステム。下水道施設の耐震設計を行う上で必要となる検討項目を自動的に抽出し、各計算ソフト用の入力データを作成する。また、各計算ソフトから得られた結果を管理し、多様な設計計算書の作成が可能。(レベル1/レベル2の同時出力、各施設の計算書を一括出力、結果一覧表の作成等)
¥ 50,000	
下水道耐震計算 (液状化の判定)	(社)日本下水道協会「下水道施設の耐震対策指針と説明 - 1997年版 -」参考および(社)日本下水道協会「下水道施設耐震計算例 - 管路施設編 - (2001年4月版)」に準拠し、地盤の液状化判定および沈下量の算定を行いません。
¥ 100,000	
下水道耐震計算 (管本体)	(社)日本下水道協会「下水道施設の耐震対策指針と解説-1997版」および(社)日本下水道協会「下水道施設耐震計算例-管路施設編-」(2001年4月版)に準拠し、新設および既設の下水道管の耐震照査を行う。県によって異なる係数の入力が可能。
¥ 250,000	
下水道耐震計算 (管本体 - 近似計算法)	(社)日本下水道協会「下水道施設の耐震対策指針と解説-1997版」および(社)日本下水道協会「下水道施設耐震計算例-管路施設編-」(2001年4月)に準拠し、差し込み継手構造の円形管渠において、管本体(鉛直断面)の耐震計算を「大規模地下構造物の耐震設計法・ガイドライン(案)」の近似計算法により求める。極めて少ない入力で、耐震計算が可能。県によって異なる係数の入力が可能。
¥ 130,000	
下水道耐震計算 (継手)	(社)日本下水道協会「下水道施設の耐震対策指針と解説-1997版」および(社)日本下水道協会「下水道施設耐震計算例-管路施設編-」(2001年4月)に準拠し、差し込み継手構造の円形管渠における(1)マンホールと本管の接続部(2)管渠と管渠の継手部の計算を行う。県によって異なる係数の入力が可能。
¥ 100,000	
下水道耐震計算 (塩ビ管[軸方向])	塩化ビニル管・継手協会「下水道硬質塩化ビニル管の耐震対策について」および(社)日本下水道協会「下水道施設耐震計算例-管路施設編-」(2001年4月)に準拠し、地震時における塩化ビニル管の軸方向応力計算を行う。県によって異なる係数の入力が可能。
¥ 100,000	
下水道耐震計算 (ダクティル圧送管)	(社)日本下水道協会「下水道施設の耐震対策指針と解説 - 1997年版 -」ならびに2001年4月発行の「下水道施設耐震計算例 - 管路施設編 -」に準拠し、地震時におけるダクティル鋳鉄管(圧送管)の軸方向応力計算、継手伸縮量および継手屈曲角度の検討が可能。
¥ 100,000	

下水道耐震計算 (マンホール本体基盤層版)	<p>(社)日本下水道協会「下水道施設の耐震対策指針と解説-1997年版」および(社)日本下水道協会「下水道施設耐震計算例-管路施設編-(2001年4月)」の文献を参考に、現場打ちマンホール(円形および矩形)の耐震計算を行います。断面照査において、レベル1地震動は許容応力度法、レベル2地震動は限界状態設計法を採用しています。</p> <p>部分的に基盤層に入るマンホールの耐震計算に対応しました。</p>
<p>¥280,000</p>	
下水道耐震計算 (組立マンホール基盤層版)	<p>組立式マンホール団体協議会が策定した、組立式マンホールの耐震計算手法に基づき、組立式マンホール本体の耐震照査を行います。(組立式マンホール団体協議会監修)(社)日本下水道協会「下水道施設耐震計算例-管路施設編-」(2001年4月)対応。</p> <p>部分的に基盤層に入るマンホールの耐震計算に対応しました。</p>
<p>¥280,000</p>	
下水道耐震計算 (ボックス横方向)	<p>(社)日本下水道協会「下水道施設の耐震対策指針と解説-1997年版」および「下水道施設耐震計算例-管路施設編-2001年版」の文献に準拠し、現場打ち・プレキャストボックスカルバートの横方向の耐震計算を行う。照査断面において、レベル1地震動は許容応力度法、レベル2地震動は限界状態設計法を採用している。</p>
<p>¥250,000</p>	
下水道耐震計算 (ボックス縦方向)	<p>(社)日本下水道協会「下水道施設の耐震対策指針と解説-1997年版」および「下水道施設耐震計算例-管路施設編-2001年版」の文献に準拠し、現場打ち・プレキャストボックスカルバートの縦方向の耐震計算を行う。継手遊間の照査および現場打ちは鉛直断面の照査、プレキャストは縦締め鋼材の応力度、目地開き量の照査を行う。</p>
<p>¥250,000</p>	
<p>下水道耐震計算 セット価格</p>	<p style="text-align: center;">Aセット</p>
	<p>「統合管理」+「液状化の判定」 ¥120,000-</p>
	<p style="text-align: center;">Bセット</p>
	<p>「管本体」+「管本体-近似計算法」 +「継手」+「塩ビ管[軸方向]」 ¥500,000-</p>
	<p style="text-align: center;">Cセット</p>
	<p>「マンホール本体基盤層版」 +「組立マンホール基盤層版」 ¥480,000-</p>
	<p style="text-align: center;">Dセット</p>
<p>「ボックス縦方向」+「ボックス横方向」 ¥350,000-</p>	

下水道常時計算 (現場打ちマンホール)	<p>現場打ちマンホールの常時における、荷重計算、断面力計算、応力度照査、安定計算を行うシステムです。計算方法は自治体によって若干異なるため、豊富な計算タイプを用意しています。なお、開口部の計算をする場合には、一旦開口部の無い構造物として計算することとし、開口部の検討は別計算としています。</p>
<p>¥ 250,000</p>	
下水道管基礎計算	<p>下水道開削工法および推進工法の空伏部の下水道管種・管基礎計算を行う。</p>
<p>¥ 150,000</p>	<p>管材は、剛性管と可とう性管に対応。計算書の出力には、条件を指定して結果を出力する詳細出力と、支承角、外圧強さ、土被り毎に結果を出力する早見表がある。</p>
長方形板の応力計算	<p>長方形薄板の断面力算出から断面照査までを一連で行います。断面力の算出にあたっては、土木学会の「平板のたわみ及びモーメントの数値表」および日本建築学会の「長方形スラブの応力とたわみ図」を参考にしています。</p>
<p>¥ 150,000</p>	
水理構造物の断面計算	<p>水理構造物特有の断面計算を行います。</p>
<p>¥ 100,000</p>	<p>対応する断面形状は「矩形」、「矩形(側方鉄筋有)」、「矩形中空」、「矩形中空(側方鉄筋有)」、「円環」の5種類です。レベル1「許容応力度法」とレベル2「限界状態設計法(終局限界状態)」に対応しています。レベル1の無筋計算が行えます。</p>
等流計算	<p>平均流速公式を用いて定形断面および自然河川の水深や流量を求める。また、</p>
<p>¥ 100,000</p>	<p>農林水産省の土地改良事業計画設計基準・設計「水路工」(平成13年2月版)に準拠した余裕高を算出可能。計算書には断面図、水理特性曲線を作図可能。</p>
不等流計算II	<p>水理学において水の流れは時間的、空間的に変化するかどうかで、定常流(等流、不等流)と非定常流の2つに分類されます。本ソフトは、流速や圧力などが時間的に変化しない定常流の中で、流速や水深が場所的に変化する不等流について計算します。なお、自由水面(free surface)をもち、水が大気に接しながら流れるものを扱います。</p>
<p>¥ 250,000</p>	
管網計算	<p>配水池の上水を末端の給水管まで輸送し、確実に蛇口から上水が流出されるよう適正な水圧とするために、エネルギー位法によって配水管網の各場所における動水位や流量、流速などを計算する。仮定流量や閉回路等のデータを考慮する必要がなく、入力も表形式で簡単に行える。多点注入とポンプに対応。</p>
<p>¥ 350,000</p>	
防災調節池	<p>(社)日本河川協会「防災調節池等技術基準(案)」ならびに(社)日本下水道協会「下水道雨水調整池技術基準(案)」を参考に、防災調節池の水文・水理計算を行うほか、(社)雨水貯留浸透技術協会「雨水浸透施設技術指針[案]」</p>
<p>¥ 250,000</p>	<p>に対応した貯留・浸透施設併用の計算を行います。</p>

土留弾塑性解析(土木)	道路協会・土研・首都高速・土木学会・下水道事業団・鉄建公団に準拠し、
¥ 400,000	各施工ステップの主働・受働土圧、水圧、弾塑性法による断面力・変位を計算し、設計計算書を作成する。断面力・変位計算～土留め壁断面計算～支保工断面計算まで一括計算。モーメントのつり合いによる根入れ長検討も可能。
土留慣用計算	道路公団・道路協会・首都高速・建設省・土木学会・下水道事業団に準拠し、
¥ 150,000	慣用法により、根入れ長・地盤安定・断面力・変位・切梁反力・応力・支保工の計算を行う。